

## 令和5年(2023年)8月 新着図書一覧

分類	No.	図書名	著者・編者名	出版社名	内容	発行年月
A	339	差別の教室	藤原章生	集英社	コロナ禍の時期に大学で行われた人気講義をもとに、差別の問題を考え続けるヒントを提示。熟練のノンフィクション作家が世界を旅して掘り下げる、新しい差別論。	2023年5月
A	340	人権ってなんだろう？	アジア太平洋人権情報センター	解放出版	人権の出発点は「私が私でいられること」。青ちゃんと空ちゃんと猫のリボンがふだん着のコトバとトピックで語るリアル人権ビジュアル読本。理念ではなく、「そうか!」と思わずひざを打つ人権のキホン納得の好著。	2018年12月
B	92	82年生まれ、キム・ジョン	チョ・ナムジュ	筑摩書房	女性が人生で経験する、女性であることを理由としたささやかな理不尽を暴いた、話題作。ある日突然、自分の母親や友人の人格が憑依したかの様子のキム・ジョン。誕生から学生時代、受験、就職、結婚、育児の人生を克明に振り返る中で、女性の人生に立ちほだかるものが浮かびあがる。	2018年12月
C	116	きみがきみらしく生きるための子どもの権利	監修：甲斐田万智子 絵：林ユミ	KADOKAWA	「子どもの権利条約」の条文の内容をイラスト入りでわかりやすく解説すると同時に、困ったときの相談窓口情報や、SDGsとの関係、子どもの権利のための様々な取り組みやデータなども紹介した、小学生から学んで使える「子どもの権利」の入門書です。	2023年3月
C	117	世界中の子どもの権利を守る30の方法:だれひとり置き去りにしない	甲斐田万智子	合同出版	世界の子どもたちがいま直面する問題を解決する、30のアプローチ。SDGs(持続可能な開発目標)を実践的に学べるヒントが満載! 子どもと学ぶ! 国際理解・権利学習の入門書	2019年10月
F	362	同和のドン 上田藤兵衛「人権」と「暴力」の戦後史	伊藤博敏	講談社	没落と反抗、暴力と抗争の修羅場を経て、自民党系同和団体のトップとなった上田藤兵衛は、あらゆる差別と闘ってきた。その人生は、そのまま戦後の暴力団・同和・経済事件史そのものでもある。山口組五代目と親交を結び、野中広務とタッグを組み、部落解放同盟と拮抗した上田が見たもう一つの戦後史とは何か?	2023年2月
F	363	「寝た子」はネットで起こされる!?	川口泰司	(公財)福岡県人権研究所	インターネットやSNSを悪用した差別の悪化・深刻化が立法事実となった。ネット上で拡散するデマや偏見。「寝た子」はネットで起こされる。全国水平社創立から百年を迎えた今、部落差別の現実、差別禁止法の必要性、ネット対策、人権教育のあり方について考える一冊。	2023年5月
G	66	まんが アフリカ少年が日本で育った結果	星野ルネ	毎日新聞出版社	カメルーン生まれ、関西育ちの“元”少年が描く笑いと涙のコミックエッセイ! 第1章 おもちゃ箱的日常編 第2章 ドタバタ成長日記編 第3章 故郷アフリカに帰った結果編 第4章 家族とルーツ編 第5章 アフリカ少年の行く末編	2018年8月
H	113	あん【文庫】	ドリアン助川	ポプラ社	どら焼き店の求人を見てやってきた徳江という高齢の女性。彼女が「あん」づくりに託した人生とは? 深い余韻が残る現代の名作。	2015年4月
Z	152	タンタンタンゴはパパふたり	著：ジャスティン リチャードソン、ピーター パーネル 絵：ヘンリー・コール	ポット出版	ニューヨークにあるセントラル・パーク動物園で実際にあった話の邦訳版。なかなかかえらない石のたまごを暖め続ける切なさ、待ちに待った赤ちゃんペンギンが生まれる瞬間、読み終わった後、ほんのりあたたかい気持ちになれる絵本。	2008年4月
Z	153	災害と性暴力—性被害をなかったことにしない、させないために	Nursing Today ブックレット編集部	日本看護協会出版会	過去の大震災時に起こった性暴力の実態を示すとともに、メディアで伝えられ方、支援者の視点、加害者の心理、ジェンダー視点の避難所づくりなど、災害と性暴力の問題を多面的に捉えた。また同じことを繰り返さないために、何をすべきか、考えるきっかけにしてほしい。	2023年1月